

報告されているが<sup>4)</sup>、皮疹についての詳細な記載はみられない。薬疹としての報告例は1例みられ、内服後4週間経過して発症した両足部の紫斑で、組織学的に leukocytoclastic vasculitis を呈したとするものである<sup>6)</sup>。しかしながら内服試験等による確認は行われていない。すでに欧米では広く使用されている薬剤であり薬疹の頻度は高くないものとは思われるが、本剤による薬疹がなんらかの特徴を有するのか、今後の症例の蓄積が待たれる。

近年ではボセンタンは指尖潰瘍やレイノー症状にも有用であること報告されている<sup>7-10)</sup>。今後さらに使用頻度が増えると思われる薬剤であり、予測されない副作用の発現にも留意するべきであろう。

#### D. 文献

- 1) Mayes MD. Endothelin and endothelin receptor antagonists in systemic rheumatic disease. *Arth Rheum* 2003; 48: 1190-9.
- 2) Ramirez A, Varga J: Pulmonary arterial hypertension in systemic sclerosis. *Treat Respir Med.* 2004; 3: 339-52.
- 3) Hachulla E, Coghlan JG. A new era in the management of pulmonary arterial hypertension related to scleroderma: endothelin receptor antagonism. *Ann Rheum Dis.* 2003, 63: 1009-14.
- 4) Rubin LJ, Badesch DB, Barst RJ et al. Bosentan therapy for pulmonary arterial hypertension. *N Eng J Med.* 2002, 346: 896- .
- 5) Fattinger K, Funk C, Pantze M, *et al.*: The endothelin antagonist bosentan inhibits the canalicular bile salt export pump: a potential mechanism for hepatic adverse reactions. *Cli Pharmacol Therapeutics.* 2001, 69: 223-31.
- 6) Gasser S, Kuhn M, Speich R. Severe necrotizing leucocytoclastic vasculitis on

a patient taking bosentan. *BM.* 2003, 329: 430..

- 7) Humbert M, Cabane J. Successful treatment of systemic sclerosis digital ulcers and pulmonary arterial hypertension with endothelin receptor antagonist bosentan. *Rheumatology.* 2003, 42: 191-3.
- 8) Snyder MJ, Jacobs MR, Gran RG, Wilkers DS, Knox KS. Resolution of severe digital ulceration during a course of bosentan therapy. *Ann Int Med.* 2005. 142: 802-23.
- 9) Ramos-Casals M, Brito-Zeron P, Nardi N *et al.* Successful treatment of severe Raynaud's phenomenon with bosentan in four patients with systemic sclerosis. *Rheumatol.* 2004, 43: 1454-6.
- 10) Korn HJ, Mayes M, Cerinic M et al. Digital ulcers in systemic sclerosis. Prevention by treatment with Bosentan, an oral endothelin receptor antagonist. *Arthritis Rheum* 2004; 50: 398: 3985-93.

#### E. 研究発表

1. 論文発表

投稿中

2. 学会発表

第29回皮膚脈管膠原病研究会

#### F. 知的所有権の出願・登録状況

なし

図1 臨床像 全身性強皮症の所見



図1 全身性強皮症の臨床像（顔面）  
仮面様顔貌および頬部の毛細血管拡張がみられる。

図2 臨床像 全身性強皮症の所見



図2 全身性強皮症の臨床像（顔面）  
強指症、指尖潰瘍あり。左4指は切断されている。

図3 臨床像  
ボセンタン内服 12日後

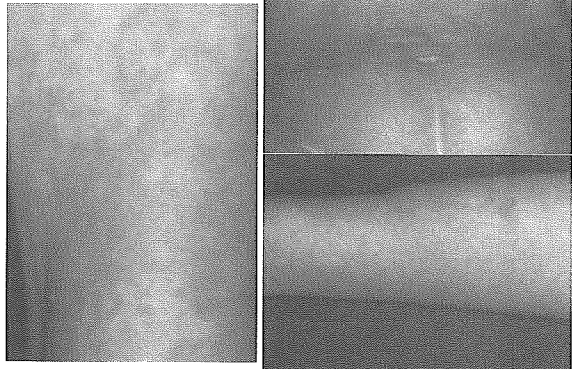


図3 ボセンタン内服 10 日後の臨床像。  
体幹、四肢に多発する紅斑。

図4 病理組織像

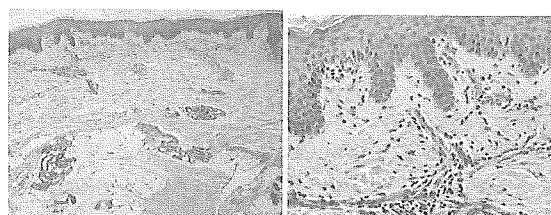


図4 生検組織像  
液状変性、真皮上層血管周囲のリンパ球浸潤がみられる。

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

【書籍】

No.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
1	Takehara K.	Pathogenesis of systemic sclerosis and CCN2 (connective tissue growth factor)	Bernard Perbal Masaharu Takigawa,	CCN PROTEINS, A New Family of Cell Growth and Differentiation Regulators	Imperial College Press	London	2005	197-205
2	竹原和彦	膠原病および類似疾患/全身性エリテマトーデス (SLE)	瀧川雅浩, 渡辺晋一編	皮膚疾患最新の治療 2005-2006	南江堂	東京	2005	59-61
3	竹原和彦	レイノー症状がある指先がしびれるが他は何ともなかったが、急に指が腫脹してきた！何を疑う？	編著：山本一彦	シュミレーション内科, リウマチ・アレルギー疾患を探る	永井書店	東京	2005	134-138
4	竹原和彦	リウマチ・膠原病の成因に迫る/全身性強皮症における二段階線維化仮説	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックス, 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	55-56
5	竹原和彦	リウマチ・膠原病の新しい病態・疾患概念と診断法/全身性強皮症の厚生労働省・新診断基準2002	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックス, 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	92-93
6	松下貴史, 竹原和彦	リウマチ・膠原病の新しい病態・疾患概念と診断法/抗アミノアシルtRNA合成酵素抗体症候群	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックス, 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	109-110
7	竹原和彦	膠原病の難治性病態とその新規治療/全身性強皮症における臓器別重症度分類とその治療指針	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックス, 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	172-177
8	小村一浩, 竹原和彦	膠原病の難治性病態とその新規治療/全身性強皮症における活動性間質性肺炎とシクロホスファミドパルス療法	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックス, 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	184-185
9	佐藤伸一	B細胞が支配する自己免疫と膠原病	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックスー変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	2-5
10	佐藤伸一	トポイソメラーゼ酵素群に対する自己抗体と自己免疫疾患	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックスー変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	64-66
11	佐藤伸一	自己抗体は、強皮症の病態を形成するかー抗MMP抗体を中心として	竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆編著	リウマチ・膠原病最新トピックスー変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	69-70
12	佐藤伸一	B細胞.	編集：玉置邦彦, 塩原哲夫	皮膚免疫ハンドブック (改訂2版)	中外医学社	東京	2005	39-46
13	佐藤伸一	爪上皮出血点：レイノー症状と両手指爪上皮の延長と出血点がみられる。臨床診断への次の一手は？	編集：宮地良樹	臨床診断に苦渋する100の外來皮膚疾患～達人が伝授する「臨床診断への次の一手」は？～	メディカルレビュー社	東京	2005	134-135
14	佐藤伸一	毎年冬になると肢端潰瘍を生じる患者がこれから冬を迎えようという時期に来院したら	編集：宮地良樹	てこずる外來皮膚疾患100の対処法？達人に聞く究極の処方と治療のコツ	メディカルレビュー社	東京	2005	140-141
15	佐藤伸一	レイノー症状があるときの具体的な日常生活指導は.	編集：宮地良樹	てこずる外來皮膚疾患100の対処法？達人に聞く究極の処方と治療のコツ	メディカルレビュー社	東京	2005	142-143
16	尹 浩信	レイノー症状	編集：宮地良樹	臨床症状に苦渋する100の外來皮膚疾患	メディカルレビュー社	東京	2005	124-125
17	尹 浩信	強皮症における線維芽細胞のTGF- $\beta$ 受容体の過剰発現とシグナル伝達異常	編集：竹原和彦, 佐藤伸一, 桑名正隆	リウマチ・膠原病最新トピックス	診断と治療社	東京	2005	67-68

18	遠藤平仁	膠原病および類縁疾患 好酸球性筋膜炎	山口 徹,北原光夫,福井次矢著	今日の治療指針	医学書院	東京	2006	605-606
19	遠藤平仁	強皮症	矢崎義雄,菅野健太郎編	疾患別最新処方改定第4版	メジカルビュー社	東京	2005	500-501
20	遠藤平仁	好酸球性筋膜炎	矢崎義雄,菅野健太郎編	疾患別最新処方改定第4版	メジカルビュー社	東京	2005	501-502
21	遠藤平仁	診断検査、検査の流れ、慢性疾患薬物療法のツボ	河合眞一編	関節リウマチ	日本医事新報社	東京	2005	24-25
22	遠藤平仁	診断基準（ACR分類基準など）の使い方、慢性疾患薬物療法のツボ	河合眞一編	関節リウマチ	日本医事新報社	東京	2005	26-28
23	遠藤平仁	早期診断のコツ、慢性疾患薬物療法のツボ	河合眞一編	関節リウマチ	日本医事新報社	東京	2005	29-30
24	遠藤平仁	鑑別診断、慢性疾患薬物療法のツボ	河合眞一編	関節リウマチ	日本医事新報社	東京	2005	31-33
25	遠藤平仁	MPO-ANCA関連強皮症腎クリーゼの病態と治療	竹原和彦編	リウマチ膠原病最新のトピックス、変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	181-183
26	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病	山本一彦	臨床免疫学（下）-基礎研究の進歩と最新の臨床-	日本臨床社	大阪	2005	443-449
27	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病	宮坂信之,小池隆夫,住田孝之,山本一彦,羅智靖,渡辺守,石井裕正	わかりやすい免疫疾患	南山堂	東京	2005	S312-S315
28	桑名正隆	特異的検査法に基づくITP診断	坂田洋一,小澤敬也	別冊・医学のあゆみ 血液疾患-state of arts Ver.3	医歯薬出版	東京	2005	28-29
29	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病と本能性血小板増多症	一瀬白帝	図説 血栓・止血・血管学	中外医学社	東京	2005	248-254
30	桑名正隆	自己抗体産生とHLA拘束性	竹原和彦,佐藤伸一,桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス-変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	28-29
31	桑名正隆	全身性強皮症における血管内皮前駆細胞異常	竹原和彦,佐藤伸一,桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス-変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	57-58
32	桑名正隆	全身性強皮症における抗RNAポリメラーゼ抗体とELISAの開発	竹原和彦,佐藤伸一,桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス-変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	97-99
33	桑名正隆	抗副刺激分子療法	竹原和彦,佐藤伸一,桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス-変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	161-163
34	桑名正隆	血小板の量的異常	浅野茂隆,池田康夫,内山 卓	三輪血液病学	文光堂	東京	2006	1627-1650
35	桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群 (Antiphospholipid Syndrome:APS)	吉田彌太郎	血液疾患ハンドブック-日常診療の手引きと臨床データ集-	医薬ジャーナル社	大阪	2006	281-292
36	桑名正隆	関節穿刺と関節液検査	池田康夫,鈴木則宏	内科研修マニュアル(改訂第2版)	南江堂	東京	2006	印刷中
37	桑名正隆	強皮症	池田康夫,鈴木則宏	内科研修マニュアル(改訂第2版)	南江堂	東京	2006	印刷中
38	桑名正隆	ベーチェット病	池田康夫,鈴木則宏	内科研修マニュアル(改訂第2版)	南江堂	東京	2006	印刷中
39	桑名正隆	抗リン脂質抗体症候群 (APS)	池田康夫,鈴木則宏	内科研修マニュアル(改訂第2版)	南江堂	東京	2006	印刷中
40	桑名正隆	強皮症	泉孝英	ガイドライン外来診療2006	日経メディカル開発	東京	2006	印刷中

41	桑名正隆	血清蛋白とその分画	橋本信也	最新 臨床検査のABC	医学書院	東京	2006	印刷中
42	桑名正隆	免疫プロブリンG, A, M, D (IgG, IgA, IgM, IgD)	橋本信也	最新 臨床検査のABC	医学書院	東京	2006	印刷中
43	桑名正隆	免疫プロブリンE (IgE)	橋本信也	最新 臨床検査のABC	医学書院	東京	2006	印刷中
44	後藤大輔、住田孝之	NKT細胞と膠原病	竹原和彦、佐藤伸一、桑名正隆	リウマチ・膠原病最新トピックス-変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	19-23
45	長谷川稔、竹原和彦	強皮症	玉置邦彦、塩原哲夫編	皮膚免疫ハンドブック改訂2版	中外医学社	東京	2005	295-302
46	佐々木哲雄	凍瘡	宮地良樹編集	臨床診断に苦渋する100の外來皮膚疾患	メディカルレビュー社	東京	2005	132-133
47	室 慶直	円板状エリテマトーデス	山口徹、北原光夫、福井次矢	今日の治療指針	医学書院	東京	2006	858
48	室 慶直	皮膚筋炎の新知見	玉置邦彦	最新皮膚科学大系年間追補版	中山書店	東京	2006	印刷中
49	室 慶直	混合性結合組織病	瀧川雅浩、渡辺晋一	皮膚疾患最新の治療 2005-2006	南江堂	東京	2005	69
50	Isao Okazaki, Tetsu Watanabe, Maki Niioaka, Yoshihiko Sugioka, Yutaka Inagaki	Reversibility of liver fibrosis: Role of matrix metalloproteinases.	Razzaque MS	Fibrogenesis: Cellular and Molecular Basis	Kluwer Academic/ Plenum Publishers	New York	2005	143-159
51	稲垣 豊、岡崎 勲	肝線維化とその制御	戸田剛太郎、税所宏光、寺野 彰	Annual Review消化器2005	中外医学社	東京	2005	106-110
52	稲垣 豊	臓器線維化のメカニズムと治療	七川欽次	リウマチ病セミナー	永井書店	大阪	2005	191-197
53	稲垣 豊、岡崎 勲	TGF- $\beta$ /Smadシグナルを標的とした肝線維化治療のストラテジー	荒川泰行	日本消化器病学会総会2005-モノグラフ	メディカルレビュー社	東京	2005	111-114
54	土屋尚之	免疫疾患の疾患感受性遺伝子	山本一彦	シミュレーション内科「リウマチ・アレルギー疾患を探る」	永井書店	大阪	2005	7-10
55	土屋尚之	SLEおよびSLEモデルマウスにおける疾患感受性遺伝子解析	竹原和彦、佐藤伸一、桑名正隆	リウマチ・膠原病最新トピックス 変わりゆく研究と診療	診断と治療社	東京	2005	34-37
56	山崎雅英	劇症型抗リン脂質抗体症候群の診断と治療	竹原和彦・佐藤伸一・桑名正隆	リウマチ・膠原病最新トピックス	診断と治療社	東京	2005	195-197
57	山崎雅英	血球貪食症候群の病態と治療	竹原和彦・佐藤伸一・桑名正隆	リウマチ・膠原病最新トピックス	診断と治療社	東京	2005	198-200
58	山崎雅英	抗リン脂質抗体症候群	一瀬白帝	図説 血栓・止血・血管学	中外医学社	東京	2005	410-421
59	山崎雅英、舟田久	感染症	倉林正彦、山岸昌一	酸化ストレスナビゲーター	メディカルレビュー社	東京	2005	282-283
60	中嶋憲一	全身性強皮症における食道シンチグラフィ 全身性強皮症における心筋血流シンチグラフィ	竹原和彦、佐藤伸一、桑名正隆	リウマチ・膠原病 最新トピックス-変わりゆく研究と診療-	診断と治療社	東京	2005	94-96 100-102
61	山本 俊幸	混合性結合組織病 (MCTD)	杉本敏夫、米増國雄、南 武志、和田謙一郎編著	ケアマネジメント用語辞典	ミネルヴァ書房	東京	2005	167

【 雑 誌 】

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻	ページ	出版年
1	Matsushita T, Hasegawa M, Hamaguchi Y, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Longitudinal Analysis of Serum Cytokine Levels in Systemic Sclerosis: Association of IL-12 Elevation with Spontaneous Regression of Skin Sclerosis	J Rheumatol		in press	2006
2	Matsushita T, Hasegawa M, Komura K, Fujimoto M, <u>Takehara K</u> , Tedder TF., and Sato S.	Inhibitory Role of CD19 in the Progression of Experimental Autoimmune Encephalomyelitis by Regulating Cytokine Response.	Am J Pathol		in press	2006
3	Matsushita T, Hasegawa M, Yanaba K, Koder M, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Elevated Serum BAFF Levels in Patients with Systemic Sclerosis (SSc): Enhanced BAFF Signaling in SSc B Lymphocytes.	Arthritis Rheum	54	192-201	2006
4	Komura K, Hujimoto M, Matsushita T, Kaji K, kondo M, Hirano T, Orito H, Horikawa M, Hamaguchi Y, Hasegawa M, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Prevalence and clinical characteristics of anti-Mi-2 antibodies in Japanese patients with dermatomyositis.	J Dermatol Sci	40	215-217	2005
5	Hayakawa I, Shirasaki F, Hirano T, Oishi N, Hasegawa M, Sato S, <u>Takehara K</u> .	Successful treatment with sildenafil systemic sclerosis patients with isolated pulmonary arterial hypertension: two case reports.	Rheumatol Int	26	270-273	2005
6	Hayakawa I, Hasegawa M, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Anti-DNA topoisomerase II $\alpha$ autoantibodies in Japanese patients with systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res	297	180-183	2005
7	Chujo S, Shirasaki F, Kawara S, Inagaki Y, Kimbara T, Inaoki M, Takigawa M, <u>Takehara K</u> .	Connective Tissue Growth Factor Causes Persistent Pro $\alpha$ 2 (I) Collagen Gene Expression Induced by Transforming Growth Factor- $\beta$ in a Mouse Fibrosis Model.	J Cell Physiol	203	447-456	2005
8	Matsushita Y, Shimada Y, Kawara S, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Autoantibody directed against the protease inhibitor calpastatin in psoriasis.	Clin Exp Immunol	139	355-362	2005
9	<u>Takehara K</u> , Sato S.	Localized scleroderma is an autoimmune disorder.	Rheumatology	44	274-279	2005
10	Koder M, Hayakawa I, Komura K, Yanaba K, Hasegawa M, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Anti-lipoprotein lipase antibody in systemic sclerosis: association with elevated serum triglyceride concentrations.	J Rheumatol	32	629-636	2005
11	Murata M, Sato S, Komura K, Shirasaki F, Hasegawa M, <u>Takehara K</u> .	Clinical characteristics of juvenile systemic sclerosis in Japanese.	J Rheumatol	32	1850-1852	2005
12	Horikawa M, Hasegawa M, Komura K, Hayakawa I, Yanaba K, Matsushita T, <u>Takehara K</u> , Sato S.	Abnormal natural killer cell function in systemic sclerosis: altered cytokine production and defective killing activity.	J Invest Dermatol	125	731-737	2005
13	川筋綾子、長谷川稔、竹原和彦	全身性強皮症による足趾潰瘍	皮膚病診療	27	71-74	2005
14	竹原和彦	免疫と病態/膠原病/全身性強皮症	日本医師会雑誌	134	179-182	2005
15	Kuratomi, G., Komuro, A., Goto, K., Shinozaki, M., <u>Miyazawa, K.</u> , Miyazono, K., and Imamura, T.	Neural precursor cell expressed, developmentally down-regulated 4-2 (NEDD4-2) negatively regulates transforming growth factor- $\beta$ (TGF- $\beta$ ) signaling by inducing ubiquitin-mediated degradation of Smad2 and TGF- $\beta$ type I receptor.	Biochem J	386 (3)	461-470	2005
16	Yamamoto, K., Sokabe, T., Watabe, T., Miyazono, K., Yamashita, J. K., Obi, S., Ohura, N., Matsushita, A., Kamiya, A., and Ando, J.	Fluid shear stress induces differentiation of Flk-1-positive embryonic stem cells into vascular endothelial cells in vitro.	Am J Physiol Heart Circ Physiol	288 (4)	H1915-1924	2005

17	Suzuki, H., Watabe, T., Kato, M., Miyazawa, K., and Miyazono, K.	Roles of vascular endothelial growth factor receptor 3 signaling in differentiation of mouse embryonic stem cell-derived vascular progenitor cells into endothelial cells.	Blood	105 (6)	2372-2379	2005
18	Kawazu, M., Asai, T., Ichikawa, M., Yamamoto, G., Saito, T., Goyama, S., Mitani, K., Miyazono, K., Chiba, S., Ogawa, S., Kurokawa, M., and Hirai, H.	Functional domains of Runx1 are differentially required for CD4 repression, TCR $\beta$ expression, and CD4/8 double-negative to CD4/8 double-positive transition in thymocyte development.	J Immunol	174 (6)	3526-3533	2005
19	Moren, A., Imamura, T., Miyazono, K., Heldin, C.-H., and Moustakas, A.	Degradation of the tumor suppressor Smad4 by WW and HECT-domain ubiquitin ligases.	J Biol Chem.	280 (23)	22115-22123	2005
20	Kano, M.R., Morishita, Y., Iwata, C., Iwasaka, S., Watabe, T., Ouchi, Y., Miyazono, K., and Miyazawa, K.	VEGF- A and FGF- 2 synergistically promote neoangiogenesis through enhancement of endogenous PDGF-B/ PDGFR $\beta$ signaling.	J Cell Sci	118 (16)	3759-3768	2005
21	Tojo, M., Hamashima, Y., Hanyu, A., Kajimoto, T., Saitoh, M., Miyazono, K., Node, M., and Imamura, T.	The ALK-5 Inhibitor A-83-01 inhibits Smad signaling and epithelial-to-mesenchymal transition by transforming growth factor- $\beta$ .	Cancer Sci	96 (11)	791-800	2005
22	Azuma, H., Ehata, S., Miyazaki, H., Watabe, T., Maruyama, O., Imamura, T., Sakamoto, T., Kiyama, S., Kiyama, Y., Ubai, T., Inamoto, T., Takahara, S., Itoh, Y., Otsuki, Y., Katsuoka, Y., Miyazono, K., and Horie, S.	Effect of Smad7 expression on metastasis of mouse mammary carcinoma JygMC(A) cells.	J Natl Cancer Inst	97 (23)	1734-1746	2005
23	Miyazono, K., Maeda, S., and Imamura, T.	BMP receptor signaling: transcriptional targets, regulation of signals, and signaling cross-talk.	Cytokine Growth Factor Rev	16 (3)	251-263	2005
24	Endo Y, Ishikawa O, Negishi I	Zeta-chain associated protein-70 molecule is essential for the proliferation and the final maturation of dendritic epidermal T cells.	Exp Dermatol	14	188-93	2005
25	Okazawa H, Motegi S, Ohyama N, Ohnishi H, Tomizawa T, Kaneko Y, Oldenborg PA, Ishikawa O, Matozaki T	Negative Regulation of Phagocytosis in Macrophages by the CD47-SHPS-1 System	J Immunol	174 (4)	2201-2011	2005
26	石川 治	皮膚疾患における Sjogren 症候群の重要性	日皮会誌	115	2120-2123	2005
27	石川 治	強皮症	日本医師会雑誌	134	S76-S77	2005
28	石川 治	アトピー性皮膚炎と鑑別を要する疾患 膠原病の紅斑 (全身性エリテマトーデス, 強皮症)	アレルギーの臨床	25 (3)	188-192	2005
29	石川 治	膠原病による下腿・足趾の壊疽・潰瘍	皮膚病診療	27 (1)	188-192	2005
30	Kodera M, Hasegawa M, Komura K, Yanaba K, Takehara K, Sato S	Serum PARC/CCL18 level is a sensitive indicator of active pulmonary fibrosis in patients with systemic sclerosis.	Arthritis Rheum	52 (9)	2889-2896	2005
31	Stohl W, Xu D, Kim KS, Tedder T, Sato S	Humoral autoimmunity in mice overexpressing B cell surface CD19: Vital role for MHC class II.	J Clin Immunol	116 (3)	257-64	2005
32	Hayakawa I, Hasegawa M, Matsushita T, Yanaba K, Kodera M, Komura K, Takehara K, Sato S	Increased cutaneous T cell-attracting chemokine levels in sera from patients with systemic sclerosis.	Rheumatology (Oxford)	44 (7)	873-878	2005



33	Hasegawa M, <u>Sato S</u> , Echigo T, Hamaguchi Y, Yasui M, Takehara K	Up regulated expression of fractalkine/CX3CL1 and CX3CR1 in patients with systemic sclerosis.	Ann Rheum Dis	64 (1)	21-28	2005
34	Kodera M, Hayakawa I, Komura K, Yanaba K, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Anti-lipoprotein lipase antibody in systemic sclerosis: association with elevated serum triglyceride concentrations.	J Rheumatol	32 (4)	629-636	2005
35	Hayakawa I, Hasegawa M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Anti-DNA topoisomerase II $\alpha$ autoantibodies in Japanese patients with systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res	297 (4)	180-3	2005
36	Horikawa M, Hasegawa M, Komura K, Hayakawa I, Yanaba K, Takehara K, <u>Sato S</u>	Abnormal natural killer cell function in systemic sclerosis: Altered cytokine production and defective killing activity.	J Invest Dermatol	125 (4)	731-737	2005
37	Murata M, <u>Sato S</u> , Komura K, Shirasaki F, Hasegawa M, Takehara K	Clinical characteristics of juvenile systemic sclerosis in Japanese. [Letter]	J Rheumatol	32 (9)	1850-1852	2005
38	Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, <u>Sato S</u>	Pathogenesis of systemic sclerosis: Altered B cell function is the key linking systemic autoimmunity and tissue fibrosis.	J Dermatol Sci	39 (1)	1-7	2005
39	Fujimoto M, <u>Sato S</u>	B lymphocytes and systemic sclerosis.	Curr Opin Rheumatol	17 (6)	746-751	2005
40	Takehara K, <u>Sato S</u>	Localized scleroderma is an autoimmune disorder.	Rheumatology (Oxford)	44 (3)	274-9	2005
41	Tedder TF, Poe JC, Fujimoto M, Haas KM, <u>Sato S</u>	The CD19-CD21 signal transduction complex of B lymphocytes regulates the balance between health and autoimmune disease: systemic sclerosis as a model system.	Curr Dir Autoimmun	8	55-90	2005
42	西島千博、長谷川稔、竹原和彦、佐藤伸一	全身性強皮症患者におけるsodium rabeprazoleの長期的臨床効果と安全性	臨牀と研究	82 (2)	375-378	2005
43	小寺雅也、長谷川稔、松下貴史、築場広一、早川郁子、小村一浩、西島千博、竹原和彦、佐藤伸一	全身性強皮症患者における可溶性ICAM-1濃度に対するペリンドプリルの効果	臨牀と研究	82 (2)	364-366	2005
44	松下貴史、佐藤伸一	【自己免疫性疾患の病態形成に関わる細胞・分子と臨床応用】BAFFと自己免疫性疾患	日本臨床免疫学会誌	28 (5)	333-342	2005
45	長谷川稔、佐藤伸一、竹原和彦	【膠原病の臨床免疫学】強皮症	日本臨牀	63 (増刊号5)	295-299	2005
46	佐藤伸一	【講座】全身性強皮症(前編)-病型分類と診断-	西日皮膚	67 (4)	378-386	2005
47	佐藤伸一	【講座】全身性強皮症(中編)-症状と治療-	西日皮膚	67 (5)	495-502	2005
48	佐藤伸一	【消化管攻撃因子(酸)に関する最新の知見】全身性強皮症に合併する酸逆流病変の治療意義	クリニシアン	52 (8)	801-804	2005
49	佐藤伸一	【臨床講義】全身性強皮症	臨牀と研究	82 (9)	1551-1556	2005
50	藤本学、松下貴史、佐藤伸一	【今、改めて胃酸関連疾患を見直す】強皮症における上部消化管病変	消化器内視鏡	17 (3)	369-373	2005
51	佐藤伸一	【臨床講義】全身性強皮症	皮膚臨牀	47 (1)	49-57	2005
52	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Mimura Y, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Regulation of fibrogenic/brolytic genes by platelet derived growth factor C, a novel growth factor, in human dermal fibroblasts.	J Cell Physiol	202	510-517	2005
53	Yamane K, Suzuki H, <u>Ihn H</u> , Kato M, Yoshikawa H, Tamaki K.	Cell type-specific regulation of the TGF- $\beta$ -responsive $\alpha$ 2(I) collagen gene by CpG methylation.	J Cell Physiol	202	822-830	2005

54	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Mimura Y, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Effects of hepatocyte growth factor on the expression of type I collagen and matrix metalloproteinase-1 in normal and scleroderma dermal fibroblasts.	J Invest Dermatol	124	324-330	2005
55	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Mimura Y, Asano Y, Tamaki K.	$\alpha 2(I)$ collagen gene regulation by protein kinase C signaling in human dermal fibroblasts.	Nucleic Acids Res	33	1337-1351	2005
56	<u>Ihn H</u> .	Scleroderma, fibroblasts, signaling, and excessive extracellular matrix.	Curr Rheumatol Rep	7	156-162	2005
57	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Jinnin M, Mimura Y, Tamaki K.	Differential effects of the immunosuppressant FK506 on human $\alpha 2(I)$ collagen gene expression and transforming growth factor $\beta$ signaling in normal and scleroderma fibroblasts.	Arthritis Rheum	52	1237-1247	2005
58	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K.	Clinical and laboratory features of scleroderma patients developing skeletal myopathy.	Clin Rheumatol	24	99-102	2005
59	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K.	Serum levels of anti-agalactosyl IgG antibodies in mixed connective tissue disease.	Br J Dermatol	152	806-808	2005
60	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Constitutive thrombospondin-1 overexpression contributes to autocrine transforming growth factor- $\beta$ signaling in cultured scleroderma fibroblasts.	Am J Pathol	166	1451-1463	2005
61	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Constitutive phosphorylation of focal adhesion kinase is involved in the myofibroblast differentiation of scleroderma fibroblasts.	J Invest Dermatol	124	886-892	2005
62	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Asashima N, Yazawa N, Mimura Y, Jinnin M, Yamane K, Tamaki K.	A case of diffuse scleroderma successfully treated with high-dose intravenous immune globulin infusion.	Rheumatology	44	824-826	2005
63	Nakashima H, Yamane K, <u>Ihn H</u> , Nakamura K, Watanabe R, Kuwano Y, Takekoshi T, Watanabe T, Hattori N, Fujimoto M, Tamaki K.	Drug-induced hypersensitivity syndrome associated with transient hypogammaglobulinemia and increase in serum IgE level.	Dermatology	210	349-352	2005
64	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Rheumatoid factor isotypes in localized scleroderma.	Clin Exp Dermatol	30	405-408	2005
65	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Mimura Y, Asano Y, Yamane K, Tamaki K.	Matrix metalloproteinase-1 up-regulation by hepatocyte growth factor in human dermal fibroblasts via ERK signaling pathway involves Ets1 and Flil.	Nucleic Acids Res	33	3540-3549	2005
66	<u>Ihn H</u> , Yamane K, Tamaki K.	Increased phosphorylation and activation of mitogen-activated protein kinase p38 in scleroderma fibroblasts.	J Invest Dermatol	125	247-255	2005
67	Tsunemi Y, Shimazu K, Saeki H, <u>Ihn H</u> , Tamaki K.	Eccrine angiomatous hamartoma with massive mucin deposition.	Eur J Dermatol	15	291-292	2005
68	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Yazawa N, Tamaki K.	Serum levels of manganese superoxidase dismutase in patients with mixed connective tissue disease.	Clin Exp Rheumatol	23	549-550	2005
69	Jinnin M, <u>Ihn H</u> , Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K.	Sclerosing panniculitis is associated with pulmonary hypertension in systemic sclerosis.	Br J Dermatol	153	579-583	2005
70	Tsunemi Y, Saeki H, <u>Ihn H</u> , Tamaki K.	Recurrent cutaneous eosinophilic vasculitis presenting as urticarial plaques.	Acta Derm Venereol	85	380-381	2005
71	Tsunemi Y, <u>Ihn H</u> , Fujita H, Asashima N, Saeki H, Tamaki K.	Square-shaped scleredema in the back: probably induced by mechanical stress.	Int J Dermatol	44	769-770	2005

72	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Jinnin M, Mimura Y, Tamaki K.	Involvement of $\alpha V\beta 5$ integrin-mediated activation of latent transforming growth factor $\beta 1$ in autocrine transforming growth factor $\beta$ signaling in systemic sclerosis fibroblasts.	Arthritis Rheum	52	2897-2905	2005
73	Tsunemi Y, <u>Ihn H</u> , Saeki H, Tamaki K.	Generalized eruptive syringoma.	Pediatr Dermatol	22	492-493	2005
74	Mimura Y, <u>Ihn H</u> , Jinnin M, Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K.	Anti-agalactoyl immunoglobulin G antibodies in localized scleroderma.	Int J Dermatol	44	817-820	2005
75	Asano Y, <u>Ihn H</u> , Yamane K, Jinnin M, Mimura Y, Tamaki K.	Increased expression of integrin $\alpha v\beta 3$ contributes to the establishment of autocrine TGF- $\beta$ signaling in scleroderma dermal fibroblasts.	J Immunol	175	7708-7718	2005
76	尹 浩信	臨床医学の展望2005 皮膚科学「膠原病」	日本医事新報	4221	39-40	2005
77	尹 浩信	全身性強皮症に合併するGERD	消化器の臨床	8	341-343	2005
78	尹 浩信, 三村佳弘, 神人正寿, 浅野善英, 山根謙一, 玉置邦彦	蕁麻疹、皮膚疾患に伴う掻痒に対するベシル酸ベポタスチン(タリオン錠)の使用経験	新薬と臨床	54	59-64	2005
79	竹腰知紀, 尹 浩信, 久保正英, 大河内仁志, 玉置邦彦	線状の皮膚硬化を伴った慢性GVHDの1例	皮膚臨床	47	969-973	2005
80	渡辺 彩, 藤本 学, 桑野嘉弘, 尹 浩信, 菊池かな子, 玉置邦彦	水疱性天疱瘡?肺癌切除後に発症した症例	皮膚病診療	27	749-752	2005
81	浅島信子, 山根謙一, レバブー・アンドレ, 柿沼 誉, 尹 浩信, 菊池かな子, 玉置邦彦	乳癌が先行し急性進行性間質性肺炎を合併した皮膚筋炎の1例	皮膚臨床	47	169-176	2005
82	南谷洋策, 矢澤徳仁, 尹 浩信, 朝比奈昭彦, 北川 剛, 北山丈二, 名川弘一, 玉置邦彦	非閉塞性長官絵師 (NOMI) を合併した斑発盛況飛翔の1例	皮膚臨床	47	177-181	2005
83	中村謙介, 山根謙一, 尹 浩信, 玉置邦彦, 増子達也, 河野慎次郎	汎発性強皮症に伴う手指潰瘍が化膿性関節炎に至った1例	皮膚臨床	47	183-187	2005
84	三村佳弘, 神人正寿, 浅野善英, 山根謙一, 矢澤徳仁, 藤本 学, 尹 浩信, 玉置邦彦	心臓粘液腫を伴った汎発性強皮症の1例	皮膚臨床	47	189-191	2005
85	蘆田龍一, 鹿田純一郎, 尹 浩信, 玉置邦彦	サンゴ皮膚炎の1例	皮膚臨床	47	227-229	2005
86	竹腰知紀, 鹿田純一郎, レバブー・アンドレ, 出月健夫, 藤本 学, 尹 浩信, 小宮根真弓, 川端康浩, 朝比奈昭彦, 玉置邦彦, 多久島亮彦	Interventional Radiologyに伴う放射線皮膚障害の4例	皮膚臨床	47	521-524	2005
87	尹 浩信	皮膚の線維化	Medical Science Digest	31	554-557	2005
88	Motohashi, E., Kawauchi, H, Endo, H, Kondo, H., Kitasato, H., Kuramoto, H., Majoma, M., Ueno, N., Hayashi, I.	Regulatory expression of lipoxin A4 receptor in physiologically estrus cycle and pathologically endometriosis.	Biomed Pharmacotherapy	59	330-338	2005
89	Kohno, S., <u>Endo, H.</u> , Hayashi, I., Murakami, Y., Kitasato, H., Kawai, S., Kondo, H	Inhibition of skin sclerosis by 15deoxy Delta (12,14)-prostaglandin J (2) and retrovirally transfected prostaglandin D synthase in a mouse model of bleomycin-induced scleroderma	Biomed Pharmacotherapy	60	18-25 in Press	2006
90	Hide Yoshida, <u>Hirahito Endo</u> , Sumiaki Tanaka, Akira Ishikawa, Hirobumi Kondo, Takeshi Nakamura	Recurrent paralytic ileus associated with strongyloidiasis in a patient with systemic lupus erythematosus: Case report and review of the literature	Modern Rheum		in press	2006

91	飯塚進子、坂井美保、田中住明、星健太、遠藤平仁、近藤啓文	ステロイド治療が肺高血圧に有効であったSub clinical Sjogren症候群の1例, シンポジウム第6回肺高血圧治療研究会	Therapeutic Research	26	2002-2004	2005
92	遠藤平仁、吉田秀、近藤啓文、久米光、野村友清	両側肺病変にアスペルギルス感染を合併し抗真菌薬、ミカファンギンとイトラコナゾールの併用療法が有用であったWegener肉芽腫症の一例	日本医真菌学会誌	47	25-29	2006
93	北里英郎、村上洋介、遠藤平仁、林泉	プロスタグランジンによる遺伝子治療の可能性	炎症と免疫	14	75781	2006
94	遠藤平仁、吉田秀、飯塚進子、近藤啓文	膠原病とその周辺疾患にみられる血管病変-その病態と治療-全身性強皮症	リウマチ科	34	46-53	2005
95	近藤啓文、遠藤平仁	全身性疾患と腎病変：診断と治療の進歩	日本内科学学会誌	94	28-32	2005
96	遠藤平仁、田中住明	膠原病リウマチ診療の新展開	日本内科学学会誌	94	91-97	2005
97	川口鎮司、鎌谷直之	わかりやすい免疫疾患 RA以外の関節炎	日本医師会雑誌	134	204-207	2005
98	川口鎮司	臨床遺伝子学05 強皮症と成人発症Still病	最新医学	60	2131-2138	2005
99	川口鎮司、鎌谷直之	タンパク・遺伝子からみた分子病 CD40抗原	生体の科学	56	532-533	2005
100	山中寿、岡本完、南家由紀、川口鎮司	アレルギー・リウマチ・膠原病	内科	96	1095-1102	2005
101	Sato N, Kamata T, Akiyama N, Kuwana M, Kanda T	Acute inflammatory sensorimotor polyradiculoneuropathy associated with immune thrombocytopenic purpura	J Intern Med	257	473-477	2005
102	Hudson LL, Rocca KM, Kuwana M, Pandey JP	Interleukin-10 genotypes are associated with systemic sclerosis and influence disease-associated autoimmune responses	Genes Immun	6	274-278	2005
103	Sato S, Hirakata M, Kuwana M, Suwa A, Inada S, Mimori T, Nishikawa T, Oddis CV, Ikeda Y	Autoantibodies to a 140-kD polypeptide, CADM-140, in Japanese patients with clinically amyopathic dermatomyositis	Arthritis Rheum	52	1571-1576	2005
104	Okada T, Noji S, Goto Y, Iwata T, Fujita T, Okada T, Matsuzaki Y, Kuwana M, Hirakata M, Horii A, Matsuno S, Sunamura M, Kawakami Y	Immune responses to DNA mismatch repair enzymes hMSH2 and hPMS1 in patients with pancreatic cancer, dermatomyositis and polymyositis	Int J Cancer	116	925-933	2005
105	Suzuki S, Shimoda M, Kawamura M, Sato H, Nogawa S, Tanaka K, Suzuki N, Kuwana M	Myasthenia gravis accompanied by alopecia areata: clinical and immunogenetic aspects	Eur J Neurol	12	566-570	2005
106	Kuwana M, Okano Y, Pandey JP, Silver RM, Fertig N, Medsger TA Jr	Enzyme-linked immunosorbent assay for detection of anti-RNA polymerase III antibody: analytical accuracy and clinical associations in systemic sclerosis	Arthritis Rheum	52	2425-2432	2005
107	Satoh T, Okano T, Matsui T, Watabe H, Ogasawara T, Kubo K, Kuwana M, Fertig N, Oddis CV, Kondo H, Akahoshi T	Novel autoantibodies against 7SL RNA in patients with polymyositis/dermatomyositis	J Rheumatol	32	1727-1733	2005
108	Kuwana M, Okazaki Y, Satoh T, Asahi A, Kajihara M, Ikeda Y	Initial laboratory findings useful for predicting the diagnosis of idiopathic thrombocytopenic purpura	Am J Med	118	1026-1033	2005
109	Ogawa Y, Kodama H, Kameyama K, Yamazaki K, Yasuoka H, Okamoto S, Inoko H, Kawakami Y, Kuwana M	Donor fibroblast chimerism in the lacrimal gland of human chronic graft-versus-host disease	Invest Ophthalmol Vis Sci	46	4519-4527	2005
110	Suzuki S, Satoh T, Yasuoka H, Hamaguchi Y, Tanaka K, Kawakami Y, Suzuki N, Kuwana M	Novel autoantibodies to a voltage-gated potassium channel KV1.4 in a severe form of myasthenia gravis	J Neuroimmunol	170	141-149	2005

111	Nakamura M, Tanaka Y, Satoh T, Kawai M, Hirakata M, Kaburaki J, Kawakami Y, Ikeda Y, Kuwana M	Autoantibody to CD40 ligand in systemic lupus erythematosus: association with thrombocytopenia, but not thromboembolism	Rheumatology	45	150-156	2006
112	Namboodiri AM, Rocca KM, Kuwana M, Pandey JP	Antibodies to human cytomegalovirus protein UL83 in systemic sclerosis	Clin Exp Rheumatol		in press	2006
113	Kodama H, Inoue T, Watanabe R, Yasutomi D, Kawakami Y, Ogawa S, Mikoshiba K, Ikeda Y, Kuwana M	Neurogenic potential of progenitors derived from human circulating CD14+ monocytes	Immunol Cell Biol		in press	2006
114	Kuwana M, Kaburaki J, Okazaki Y, Miyazaki H, Ikeda Y	Two types of autoantibody-mediated thrombocytopenia in patients with systemic lupus erythematosus	Rheumatology		in press	2006
115	Kajihara M, Okazaki Y, Kato S, Ishii H, Kawakami Y, Ikeda Y, Kuwana M	Evaluation of platelet kinetics in patients with liver cirrhosis: Similarity to idiopathic thrombocytopenic purpura	J Gastroenterol Hepatol		in press	2006
116	Kuwana M, Kaburaki J, Okazaki Y, Yasuoka H, Kawakami Y, Ikeda Y	Increase in circulating endothelial precursors by atorvastatin in patients with systemic sclerosis	Arthritis Rheum		in press	2006
117	桑名正隆	強皮症・混合性結合組織病	毎日ライフ	36	23-31	2005
118	桑名正隆	自己免疫性血小板減少症	血液フロンティア	15	53-62	2005
119	桑名正隆	免疫性血小板減少性紫斑病患者に対するヒト化抗CD154抗体単回投与の血小板特異的自己免疫応答に対する効果	分子細胞治療	4	76-77	2005
120	桑名正隆	強皮症の診断基準・病型分類・重症度	内科	95	1445-1449	2005
121	桑名正隆	診断メモ - 顕微鏡的血管炎	内科	95	1468	2005
122	桑名正隆	診断メモ - アレルギー性肉芽腫性血管炎	内科	95	1469	2005
123	桑名正隆, 池田康夫	病態解析と治療の進歩 -ITP	総合臨床	54	1871-1875	2005
124	桑名正隆	強皮症	最新医学	60	145-154	2005
125	桑名正隆, 池田康夫	特発性血小板減少性紫斑病	最新医学	60	231-240	2005
126	桑名正隆	抗RNAポリメラーゼ抗体	日本臨床	63	491-494	2005
127	桑名正隆	抗Sc1-70抗体 (抗トポイソメラーゼI抗体)	日本臨床	63	499-501	2005
128	桑名正隆	Helicobacter pylori感染とITPの関連を解析する -抗GPIIb/IIIa抗体産生B細胞より-	Helicobacter Research	9	13-18	2005
129	安岡秀剛, 桑名正隆	ベーチェット病病態形成におけるTリンパ球細胞の役割	医学のあゆみ	215	28-32	2005
130	小川葉子, 桑名正隆, 河上裕	造血幹細胞移植後のGVHDによるドライアイの病態解析 - 病的線維化病変におけるドナー由来線維芽細胞の関与 -	あたらしい眼科	22	1233-1234	2005
131	桑名正隆	自己反応性T細胞 -自己免疫疾患における役割 -	炎症と免疫	13	114-116	2005
132	桑名正隆, 朝日厚子, 池田康夫	ITPとHelicobacter pylori感染	日本検査血液学会雑誌	6	325-331	2005
133	桑名正隆	肺線維症	Medical Science Digest	31	14-17	2005
134	古屋善章, 桑名正隆	膠原病における血管内皮機能の異常	血栓と循環	13	24-28	2005
135	桑名正隆, 池田康夫	特異的検査法を取り入れた新しいITPの診断基準	日本血栓止血学会誌	16	607-613	2005
136	桑名正隆	特発性血小板減少性紫斑病とHelicobacter pylori	日本ヘリコバクター学会誌	7	55-61	2006
137	桑名正隆	強皮症 (全身性強皮症)	Medical Practice	23	印刷中	2006
138	後藤大輔, 住田孝之	NKT細胞と膠原病: 可溶性CD1dとNKT細胞制御とのかかわりを探る	分子呼吸器病	9	331-335	2005

139	Hasegawa M, Sato S, Echigo T, Hamaguchi Y, Yasui M, Takehara K	Up-regulated expression of fractalkine/CX3CL1 and CX3CR1 in patients with systemic sclerosis	Ann Rheum Dis	64	21-28	2005
140	Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S	Pathogenesis of systemic sclerosis: Altered B cell function is the key linking systemic autoimmunity and tissue fibrosis	J Dermatol Sci	39	1-7	2005
141	Hayakawa I, Hasegawa M, Matsushita T, Yanaba K, Kodera M, Komura K, Takehara K, Sato S	Increased cutaneous T-cell-attracting chemokine levels in sera from patients with systemic sclerosis	Rheumatology	44	873-878	2005
142	Kodera M, Hasegawa M, Komura K, Yanaba K, Takehara K, Sato S	Serum pulmonary and activation-regulated chemokine/CCL18 levels in patients with systemic sclerosis	Arthritis Rheum	52	2889-2896	2005
143	長谷川稔, 佐藤伸一, 竹原和彦	強皮症	日本臨床	63 (増刊号5)	295-299	2005
144	鈴木知佐子, 小原琴美子, 山本元久, 苗代康可, 山本博幸, 高橋裕樹, 阿部 敬, 今井浩三	オクトレオチド投与により腹部症状の増悪を認めた強皮症・多発性筋炎重複症候群の1例	日臨免誌	28 (1)	56-61	2005
145	佐々木哲雄	巻頭言 忘れ得ぬ症例と人生の節目に思うこと	皮膚科の臨床	47	1153-1154	2005
146	佐々木哲雄	強皮症 20年間の進歩と展望	皮膚病診療	27	1250-1255	2005
147	池澤優子, 掛水夏恵, 河野真純, 三谷直子, 山川有子, 佐々木哲雄, 原野 浩, 中嶋 弘, 高島浩介, 池澤善郎	鼻腔内より発症したムールコル症の1例	臨床皮膚科	59	124-126	2005
148	Muro Y	Antinuclear antibodies	Autoimmun	38	3-9	2005
149	Goto N, Sugiura K, Ogawa Y, Watanabe A, Onouchi H, Tomita Y, Muro Y	Anti-p80 coilin autoantibodies react with a conserved epitope and are associated with anti-DFS70/LEDGF autoantibodies	J Autoimmun		in press	
150	室 慶直	自己抗体からみたSLE	Derma	99	52-57	2005
151	室 慶直	皮膚角質細胞とランゲルハンス細胞	小児科診療	68 (8)	1409-1414	2005
152	室 慶直	掻痒と湿疹をきたす皮膚疾患(白癬, 疥癬を含む)	リウマチ科	34 (2)	182-185	2005
153	廣田真弓実, 室 慶直, 富田靖	前腕の浮腫性硬化が急速に進行した全身性強皮症の一例	西日本皮膚科		印刷中	2006
154	Sonoko Chujo, Fumiaki Shirasaki, Shigeru Kawara, Yutaka Inagaki, Takuro Kinbara, Masaharu Takigawa, Kazuhiko Takehara	Connective tissue growth factor causes persistent pro $\alpha$ 2(I) collagen gene expression induced by transforming growth factor- $\beta$ in a mouse fibrosis model.	J Cell Physiol	203	447-456	2005
155	Tomoaki Yoshino, Hideaki Sumiyoshi, Toshitaka Shin, Noritaka Matsuo, Yutaka Inagaki, Yoshifumi Ninomiya, Hidekatsu Yoshioka	Multiple proteins are involved in the protein-DNA complex in the proximal promoter of the human $\alpha$ 1(III) collagen gene (COL3A1).	Biochim Biophys Acta	1729	94-104	2005
156	Yutaka Inagaki, Miwa Kushida, Kiyoshi Higashi, Johbu Itoh, Reiichi Higashiyama, Yun Yu Hong, Norifumi Kawada, Kazuhiko Namikawa, Hiroshi Kiyama, George Bou-Gharios, Tetsu Watanabe, Isao Okazaki, Kazuo Ikeda	Cell type-specific intervention of TGF- $\beta$ /Smad signaling suppresses collagen gene expression and hepatic fibrosis in mice.	Gastroenterology	129	259-268	2005

157	Gianluca Svegliati-Baroni, Yutaka Inagaki, Ana-Rosa Rincon-Sanchez, Cindy Else, Stefania Saccomanno, Antonio Benedetti, Francesco Ramirez, Marcos Rojkind	Early response of $\alpha 2(I)$ collagen to acetaldehyde in human hepatic stellate cells is TGF- $\beta$ -independent.	Hepatology	42	343-352	2005
158	Nobuhiro Izumi, Shinjiro Mizuguchi, Yutaka Inagaki, Shizuya Saika, Norifumi Kawada, Yuji Nakajima, Kiyotoshi Inoue, Shigefumi Suehiro, Scott L Friedman, Kazuo Ikeda	BMP-7 opposes TGF- $\beta$ 1-mediated collagen induction in mouse pulmonary myofibroblasts through Id2.	Am J Physiol Lung Cellular and Molecular Physiology	290	L120-126	2006
159	岡崎 勲、稲垣 豊	線維化病態の治癒へのダイナミックチェンジ	Medical Science Digest	31	550-553	2005
160	稲垣 豊、東 清史、池田一雄、岡崎 勲	TGF- $\beta$ /Smadシグナルからみた肝線維化治療	Medical Science Digest	31	562-565	2005
161	東山礼一、稲垣 豊、岡崎 勲	線維化マーカーの測定意義と方法論	Medical Science Digest	31	580-584	2005
162	Kuroki K, Tsuchiya N, Shiroishi M, Rasubala L, Yamashita Y, Matsuta K, Fukazawa T, Kusaoi M, Murakami Y, Takiguchi M, Juji T, Hashimoto H, Kohda D, Maenaka K, Tokunaga K.	Extensive polymorphisms of LILRB1 (ILT2, LIR1) and their association with HLA-DRB1 shared epitope negative rheumatoid arthritis.	Hum Mol Genet	14	2469-2480	2005
163	Kono H, Kyogoku C, Suzuki T, Tsuchiya N, Honda H, Yamamoto K, Tokunaga K, Honda Z.	Fc $\gamma$ RIIB Ile232Thr transmembrane polymorphism associated with human systemic lupus erythematosus decreases affinity to lipid rafts and attenuates inhibitory effects on B cell receptor signaling.	Hum Mol Genet	14	2881-2892	2005
164	Tsuchiya N, Kyogoku C	Role of Fc $\gamma$ receptor IIb polymorphism in the genetic background of systemic lupus erythematosus: Insights from Asia.	Autoimmunity	38	347-352	2005
165	Tsuchiya N, Kobayashi S, Hashimoto H, Ozaki S, Tokunaga K	Association of HLA-DRB1*0901- DQB1*0303 haplotype with microscopic polyangiitis in Japanese.)	Genes Immun		in press	
166	Miyashita R, Tsuchiya N, Yabe T, Kobayashi S, Hashimoto H, Ozaki S, Tokunaga K	Association of killer cell immunoglobulin-like receptor (KIR) genotypes with microscopic polyangiitis.	Arthritis Rheum		in press	
167	申栄吉、土屋尚之	BAFF(BLyS)とその受容体の生理的役割と病態との関連	臨床免疫	43	47-54	2005
168	土屋尚之	自己免疫疾患の疾患感受性遺伝子-最近の話題-	最新医学	60 (増刊号)	1357-1355	2005
169	土屋尚之	多因子遺伝病としてのリウマチアレルギー疾患：全身性エリテマトーデス	最新医学	60 (増刊号)	2120-2130	2005
170	土屋尚之、本田善一郎	目で見るバイオサイエンス：全身性エリテマトーデスに見られる遺伝子多型。	内科	96	1115-1119	2005
171	Ohtsuka T, Yamazaki S	Altered prevalence of human parvovirus B19 component genes in systemic sclerosis skin tissue	Br J Dermatol	152	1078-1079	2005
172	Ohtsuka T, Yamazaki S	Prevalence of human parvovirus B19 component NS1 gene in patients with Henoch-Schonlein purpura and hypersensitivity vasculitis	Br J Dermatol	152	1080-1081	2005
173	Ohtsuka T, Yamazaki S	The involvement of immunoglobulin E isotype switch in scleroderma skin tissue	J Dermatol Sci	39	97-104	2005

174	Hashikabe M, Ohtsuka T, Yamazaki S	Quantitative echographic analysis photochemotherapy on systemic sclerosis skin	Arch Dermatol Res	296	522-527	2005
175	Asakura H, Asamura R, Ontachi Y, Hayashi T, Omote M, Arahata M, Kadohita Y, Maekawa M, Yamazaki M, Morishita E, Yoshida T, Miyamoto K, Nakao S	Beneficial effects of urokinase on lipopolysaccharide-induced disseminated intravascular coagulation in rats: focus on organ function and endothelin levels.	Thromb Haemost	93 (4)	724-728	2005
176	Asakura H, Asamura R, Ontachi Y, Hayashi T, Yamazaki M, Morishita E, Miyamoto KI, Nakao S	Selective inducible nitric oxide synthase inhibition attenuates organ dysfunction and elevated endothelin levels in LPS-induced DIC model rats.	J Thromb Haemost	3(5)	1050-1055	2005
177	Ontachi Y, Asakura H, Arahata M, Kadohita Y, Maekawa M, Hayashi T, Yamazaki M, Morishita E, Saito M, Minami S, Nakao S	Effect of combined therapy of danaparoid sodium and tranexamic acid on chronic disseminated intravascular coagulation associated with abdominal aneurysm.	Circ J	69 (9)	1150-1153	2005
178	Hara J, Fujimura M, Myou S, Oribe Y, Furusho S, Yamazaki M, Nakao S.	Primary Alveolar Hypoventilation Syndrome Complicated with Antiphospholipid Syndrome	Internal Med	44 (9)	987-989	2005
179	山崎雅英	SLEに合併した血球貪食症候群 (HPS)	病理と臨床 【臨時増刊号】 膠原病の病理診断マニュアル	23	243-247	2005
180	山崎雅英	劇症型抗リン脂質抗体症候群	日本臨床免疫学会誌	28 (6)	1-5	2005
181	河嶋 洋平, 山崎雅英, 森下英理子, 朝倉 英策, 長谷川稔, 大竹 茂樹	異なる疾患群におけるIgG型抗プロトロンビン抗体測定キット2社間の測定値の乖離	日本血栓止血学会雑誌	16 (4)	378-385	2005
182	久保杏奈, 朝倉英策, 表美香, 荒幡昌久, 門平靖子, 前川実生, 御館靖雄, 林朋恵, 山崎雅英, 森下英理子, 吉田知孝, 宮本謙一, 中尾眞二	LPS誘発DICモデルに対するPGI2誘導体の効果-凝血学的マーカー、血中サイトカイン濃度に対する影響-	日本血栓止血学会雑誌	16 (4)	372-377	2005
183	Yamamoto T, Nishioka K	Cellular and molecular mechanisms of bleomycin-induced murine scleroderma: Current update and future perspective.	Exp Dermatol	14	81-95	2005
184	Yamamoto T.	Characteristics of murine models for scleroderma	Current Rheumatol Rev	1	101-109	2005
185	Yamamoto T, Nishioka K	Increased expression of p53 and p21 (Waf1/Cip1) in the lesional skin of bleomycin-induced scleroderma	Arch Dermatol Res	296	509-513	2005
186	Yamamoto T, Sawada Y, Katayama I, Nishioka K.	Nodular scleroderma: Increased expression of connective tissue growth factor.	Dermatology	211	218-223	2005
187	5. Matsushita M, Yamamoto T, Nishioka K	Plasminogen activator inhibitor-1 is elevated, but not essential, in the development of bleomycin-induced murine scleroderma.	Clin Exp Immunol	139	429-438	2005
188	Yazawa N, Hamaguchi Y, Poe JC, Tedder TF	Immunotherapy using unconjugated CD19 monoclonal antibodies in animal models for B lymphocyte malignancies and autoimmune disease.	Proc Natl Acad Sci USA	102	15178-83	2005
189	Jinnin M, Ihn H, Asano Y, Yamane K, Yazawa N, Tamaki K	Sclerosing panniculitis is associated with pulmonary hypertension in systemic sclerosis	Br J Dermatol	153	579-583	2005
190	Asano Y, Ihn H, Asashima N, Yazawa N, Mimura Y, Jinnin M, Yamane K, Tamaki K	A case of diffuse scleroderma successfully treated with high-dose intravenous immune globulin infusion.	Rheumatology (Oxford)	44	824-826	2005



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業  
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発  
平成17年度 総括・分担研究報告書

発行 平成18年3月

発行所 強皮症調査研究班事務局

金沢大学大学院医学系研究科

血管新生・結合組織代謝学(皮膚科学)内

〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号

TEL 076-265-2343 FAX 076-234-4270